

第27回熊谷市民短歌大会と作品(色紙・短冊)展

熊谷短歌会 短歌大会 11月7日(日) 会場 熊谷市立市民ホール
作品展 11月2日(火)～7日(日) 会場 熊谷市中央公民館展示ホール

当日の状況

市民短歌大会は、会場の入場制限により、原則として受賞者・来賓・熊谷短歌会役員のみとした。

表彰式には、市長選直後で新市長は初登頂日の前日の日曜日とあって、来場いただけなかった。表彰状は教育長が代読された。

作品展は、入場者の管理が出来ないので基本的に役員のみ出展とした。



成果

市民短歌大会は、96人192首と大会始まって以来過去最高の参加者となった。

作品展は、27人42点の参加者。来場者は約200人。

主催

熊谷短歌会 熊谷市文化連合
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第13回熊谷ひばりピアノコンクール

熊谷ひばりピアノコンクール実行委員会 熊谷文化創造館さくらめいと「太陽のホール」
11月3日(水・祝) 10:00~20:00

当日の状況

第13回熊谷ひばりピアノコンクールは、コロナ渦の中、時間短縮と規模を縮小し万全の対策をして開催された。A部門の、幼児からG1部門の大学生一般部門、G2部門の愛好家の一般部門まで幅広い年齢層のコンクールとなった。

後半に向かうごとに演奏のレベルが上がり、表現力、テクニック等、日ごろの練習の成果をいかに発揮する場の提供となり、参加者は演奏する喜びに溢れていた。



成果

目的に「地域の芸術文化向上、生涯学習としてのピアノ演奏の理解を深め、音楽的情操教育の発展を目的とする。」とある様に「ピアノ演奏の場の提供」という面で、幼児から、ピアノ愛好者の部門まで幅広い年齢層の参加に、成果を感じた。

参加者の感想の中にも、「ピアノの音がとてもきれいだった」「演奏することがとても気持ちがよかった」など、「一流のホールで一流のピアノで演奏する」「緊張の中成果を出す」という事を通じて、情操教育、生涯学習という面でも参加者同士の刺激、経験になったと感じられた。



主催

熊谷ひばりピアノコンクール実行委員会
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第5回幸墨会一門展

書道研究 幸墨会 イオンモール羽生 イオンホール

11月6日(土)~8日(月) 10:00~18:00

当日の状況

11月6日から8日まで3日間にわたって開催された。書道技術向上を目指す会員の作品104点を展示、特別展示として埼玉県出身の「渋沢栄一」の直筆の書を展示、並びにNHK大河ドラマ「青天を衝け」の書道指導者「かなしきしんぼう金敷駿房」氏の直筆の書も同時展示した。来場者812人の方々を迎え、会員の作品、並びに特別展示作品に関心が集まり会場内は静かに鑑賞する雰囲気の中、感動、感心、興味を示す人達の表情が其処彼処に溢れていた。



成果

書を通じて会員相互の親睦と信頼関係の向上がはかれ、自らの書道技術の向上を目指す展覧会となった。

展覧会を応援して下さる各界の方々の来場を迎え、県北地域での精神性の高い書道芸術展の開催に関係者一同自信と誇りが生まれた。早くも来年度の開催に向けて更なる努力を続ける会員達の強い覚悟が生まれた。最終日は華やいた中、惜しまれつつも展覧会の幕は閉じられた。



主催

書道研究 幸墨会

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



第21回ちちぶ民謡・民舞の祭典

秩父民謡団体連合会 秩父市福祉女性会館ホール

11月14日(日) 10:00~15:50

当日の状況

入場者30人、参加者60人、手伝い3人。9月25日(土)の開催が、緊急事態宣言による会場使用禁止により予定変更になり、11月14日(日)に開催した。この日も選挙投票日と重なるかと苦慮したが、ようやく実行できた。午前9時の開場にあわせ、気温12度の寒い朝の中で音響機材の準備をし、スタッフは全員体温測定結果を記録し、埼玉県芸術文化祭ロゴマーク入りマスクを使用した。

一般入場者は体温測定、消毒、マスクの使用にて入場、舞台演技者はフェイスシールドを使用し進行した。午後1時より式典、午後4時に秩父音頭の唄と踊りで終了した。



成果

今年は昨年とは新型コロナウイルス感染症の状態が少し異なったことで、緊張の度合いが違い、思いっきり唄と演奏ができた。また、曲目等も秩父地方の唄等を後世に伝えるべく、会員皆にて誓い合い、次回の祭典に邁進することとなった。



主催

秩父民謡団体連合会
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



熊谷市文化祭 第71回公募洸風会書道展

洸風会 熊谷市中央公民館大ホール

11月20日(土)～22日(月) 9:00～17:00

当日の状況

令和3年度も、授賞式・祝賀会は、新型コロナウイルス感染拡大により中止せざるを得ないことになり、作品展示のみの実施となった。

作品展示は、20日から3日間行い、約120人來場した。作品出品点数は、第1部が14点、第2部が16点、学生部が47点、役員が20点合計97点となった。

成果

作品は、新型コロナウイルスの関係で教室等の閉鎖が続き、一般の出展が減少してしまった。

來場者は、地元熊谷市の方が多く來場した。

その他市町村では、さいたま市、ふじみ野市、加須市、深谷市など近隣の市町から來ていただいた。

性別では、男性より女性が多めに來場した。

年代別では、60代から70代が多く來場した。残念ながら授賞式を中止したことから、小・中学生の來場は少数だった。

主催

洸風会

熊谷市文化連合

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



第29回埼玉県三曲協会定期演奏会

埼玉県三曲協会 響の森桶川市民ホール
11月23日(火・祝) 11:30~15:30

当日の状況

今回の演奏会は、コロナ禍の演奏会という未だ体験したことのない手探りの開催であった。開催に当たっては会員一同、感染予防を第一に考えながらも演奏会の成功のために、それぞれの役割に励んだ。窮地の中での会員相互の協力しあう気持ちはかけがえない経験となった。11月末は感染者の数も減少したこともあり、予想以上の来場者に恵まれ、用意していたプログラムが足りなくなる嬉しい誤算も発生した。

成果

コロナ禍ではあるが、生で和楽器の演奏を多くの方に聞いていただける貴重な演奏会となった。さらに、安全に一人でも多くの方に鑑賞していただくために、演奏を撮影しYouTubeにて発表する事も考案した。その結果、通常開催より多くの方、または広い地域の方に見ていただく事を可能にした。コロナ禍という悪条件が新しい知恵を生む機会となり、会員の意欲を引き出した。

主催

埼玉県三曲協会
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第46回埼玉県西部地区合唱祭

埼玉県西部地区合唱連盟 坂戸市文化会館「ふれあ」

11月23日(火・祝) 13:00~17:00

当日の状況

第46回埼玉県西部地区合唱祭はコロナ禍の中での開催となり、観客は無観客・出演者293人。出演は、女声（8団体）、男声（3団体）、混声（5団体）の16団体。例年より少ない人数であったが、魅力ある演奏が会場に響き盛り上がった雰囲気のまま幕を閉じた。



成果

コロナ禍で感染拡大予防に全力を尽くしみんなで力を合わせ努力を重ねながら実施した思い出深い第46回合唱祭。これからの糧となることだろう。



主催

埼玉県西部地区合唱連盟
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第29回埼玉読売写真クラブ総合写真展

埼玉読売写真クラブ プラザノース

11月25日(木)~30日(火) 9:00~17:00

当日の状況

一週間の開催期間でしたが、案内状をお送りしたこともあり、又買い物帰りの方達も来場され、盛大に終了する事が出来た。

成果

来場者数は延べ747人と大勢の方が来場され、多くの方々から貴重なご意見を頂き、大いに参考になり、今後の励みになった。

又、こんなに写真好きな方達が大勢いる事にも驚いた。



主催

埼玉読売写真クラブ

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



第9回彩の国埼玉 ジュニア桴(ばち)の祭典

埼玉県太鼓連盟 深谷市花園文化会館アドニス

11月28日(日) 13:30~14:30

当日の状況

来場者用にA I顔認識温度検知・自動噴霧消毒機を設置すると共に、座席を1席おきする等の感染症防止対策を講じた。定員711人のところ200人程の来場者であったため、十分なソーシャルディスタンスが取れた。声を出しての応援を禁止し、拍手だけの応援であったが、観客の熱のこもった応援を受けた出演者は、ジュニアらしい元気のある演奏ができた。

成果

来場者の大多数は、出演者の家族と思われるが、和太鼓が好きな一般客の来場も見受けられた。

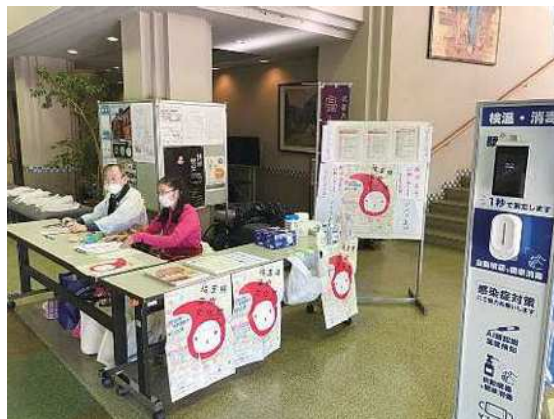
演奏会を通して、参加者相互の交流を深めると共に、地域の伝統文化の継承・振興と青少年の健全育成及び日本太鼓の普及を図ることができた。

主催

埼玉県太鼓連盟

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



新創 彩西美術展 '21

彩西美術会 坂戸市文化会館「ふれあ」

11月30日(火)~12月5日(日) 10:00~17:00

当日の状況

県西部において、独創的で個性的な創作活動を展開する作家の作品を一堂に展示し、県西部地区における美術理念の向上に資することを目的として、平成19年12月に「新創 彩西美術展」を開催。以来今回で14回目、県芸術文化祭地域文化事業としては10回目の開催となった。

今回も出展者52人の作品は、具象から抽象、立体作品までの幅広いジャンルに及び、68点の展示作品のメッセージ表を掲示、作者の制作意図や技法について解説。これにより鑑賞者から「作品の理解が深まった」「制作上の画法、技法の参考になった」と感謝の言葉も多々寄せられた。

成果

今回の来場者は820人で、初めて来場した人も多数あり昨今の社会状況の中では想定を上回る数となった。

アンケート調査の回答は131人。来場者の約16%であった。そのうちの記述欄には、「力作に感動した」「色々なジャンル、作品、作風があって面白い」「坂戸でこれだけの作品が見られてうれしい」などの高い評価が寄せられた。

主催

彩西美術会

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉芸術文化祭実行委員会



第33回サンシティ市民合唱団定期演奏会「ドイツレクイエム」

サンシティ市民合唱団 サンシティ越谷市民ホール

12月5日(日) 14:00~17:00

当日の状況

コロナ禍2度目の演奏会。昨年と同様開場を早め、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、開場時に密にならない様整列を促し、検温、手指の消毒、プログラムはご自身で取って頂くようお願いした。昨年同様長年続けてきた保育室設置、リハーサル公開、ロビーコンサートを中止し、全指定600席に席数を限定し開催した。来場者約370人。



成果

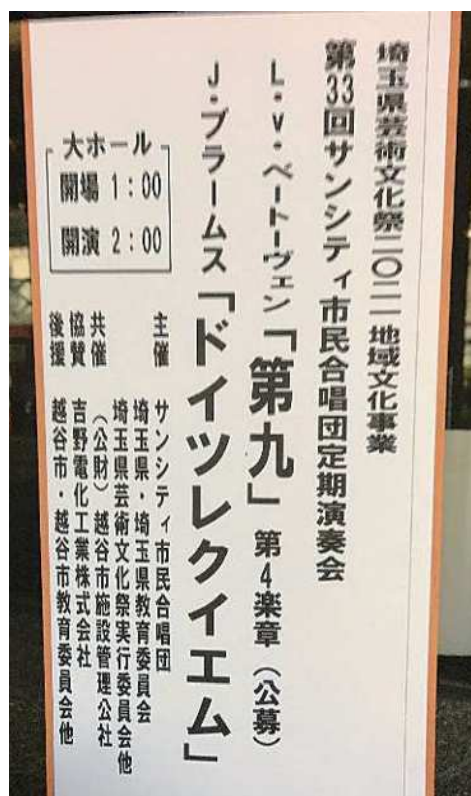
今回の演奏会は「ドイツレクイエム」「第九」という余り例のないプログラムを組み、コロナ禍を乗り越えるべく癒しと希望のコンサートとなった。又来場者は昨年より100人以上増えた。「第九」は一般公募し歌う機会を設定したので参加した方、お客様にも喜んで頂けた。アンケートにも、「越谷の地域力を感じて楽しんで聴けた」「コロナ禍、希望を失っていたが生きる力を貰った」「ドイツレクイエムの美しさに感動した」「マスクをつけて歌っていたが声量があり、音楽の強弱、子音等良く聴こえた」他、温かいメッセージが寄せられた。



来場者よりこの演奏を聴けた事への感謝と、今後の活動への激励を頂き開催したことの意義を再確認した。

主催

サンシティ市民合唱団
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第55回全日本書道芸術展

全日本書道芸術院 埼玉県立近代美術館
12月14日(火)～19日(日) 10:00～17:30

当日の状況

今展は新しい伝統の作品が陳列され、参加出品した層も広がった。

成果

埼玉新聞に会場写真が掲載され、その中に招待作品の坂本冬美さんの作品が写っていたこともあり、来場者からも反響があった。作品の内容も幅広くなり見応えがあったとの声が聞かれた。

主催

全日本書道芸術院
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第30回全国平成水墨画展

全国平成水墨画協会 埼玉会館

12月18日(土)~22日(水) 10:00~17:00

当日の状況

今年はコロナの影響もあり、入場者が激減した中でパフォーマンスの人気は何時もの事であるが、少ない入場者が何度も会場を巡り楽しんでいる様子がありよかった。

成果

今年の水墨画展はコロナの影響もあり入場者が激減した。その中で生活の中の水墨画コーナーは主催者が想像した以上に好評であり、来年につながるものとして考える事柄となった。

主催

全国平成水墨画協会
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第56回「郷土を描く児童生徒美術展」

埼玉県校外教育協会 埼玉県立近代美術館

12月25日(土) 10:00~16:30 12月26日(日) 10:00~15:30

当日の状況

埼玉県立近代美術館を会場に2日間の日程で開催し、中央審査会の審査を経て選ばれた知事賞120作品を展示した。

県内各所から700人を超える方々に御来場いただき、広いスペースにゆとりをもって飾られた作品を、落ち着いた雰囲気の中で鑑賞していただいた。

会場では、家族や親戚で連れ立って訪れ、子どもの作品を見つけて作品と一緒に記念撮影したり、作品の前で嬉しそうに談笑している姿があちこちで見られた。また、展示された作品を夢中になって眺め、印象に残った作品を撮影している子供の姿も目立った。



成果

本美術展は、児童生徒が郷土を描き、その作品による展覧会を実施することによって、郷土埼玉に対する理解と認識を深め、郷土愛の高揚を図ることを目的としている。

当日に行ったアンケートでは、「様々な作品を見ることができ、勉強になりました。子供らしい作品がたくさんあり見ていて幸せな気持ちになりました。」「市内だけでなく、埼玉県内の小中学校の児童生徒の様々な作品を見ることができてとても良かったです。地区によって特色のある題材を使っていて興味深く感じました。」などの声が寄せられ、本事業が郷土埼玉の魅力を見出すきっかけとなり、子供たちの健全な育成に貢献することができたと考えている。

主催

一般社団法人 埼玉県校外教育協会
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



第124回埼玉県歌人会秋季紙上短歌大会

埼玉県歌人会
紙上大会

当日の状況

新型コロナウイルスの感染者数が際だった減少に向わず10月に入ってすぐ、紙上大会に切り替えることとした。従って歌会、表彰式、懇談会の開催は断念せざるを得なかった。受賞者の賞状、盾等は、作品集、選者コメント集共々後日送付した。

成果

応募者 143人 応募作品総数 286首 表彰者数 16人

コロナ禍でしかも紙上大会にもかかわらず応募作品が前回より大幅に増え嬉しいことであった。早速冊子にまとめられ、5人の選者が各々持ち点に沿った作品を選び、それを持ち寄り、選者会議を経て入選作品を決めていった。下記のような作品が選ばれ満足な成果であった。入賞者の作品の一部を掲載する。

埼玉県知事賞 白岡市 野口和子

- ・拘縮の四肢湯の中に和らぎてわずかな動きに笑顔がのぞく

埼玉県教育長賞 東京都葛飾区 西川芳子

- ・紫陽花の枝を撓めてつづく路地下校の子等の喚声聞こゆ

埼玉県芸術文化祭実行委員会会長賞 桶川市 平井加恵子

- ・さわさわと青葉ゆらせる檜の木の林を山とあなたは呼びぬ

埼玉県芸術文化祭実行委員会奨励賞（三）

本庄市 清塚芽香子

- ・三代を受け継がれ来し梳(す)き櫛に椿一凛赤々と咲く

さいたま市 吉田ひろみ

- ・冷蔵庫にスポーツドリンク並びぬる要らぬと言ひしに子は置きゆきぬ

熊谷市 大倉恵子

- ・クレーンに吊られ傘寿の植木屋さん鋏の音立てこぶし剪定す

主催

埼玉県歌人会

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



第43回墨晨書道会 誌上展

墨晨書道会
誌上展

当日の状況

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場での展示を取り止め冊子での発表とした。

成果

出品点数は一般（高校生以上）187点、学生部（幼年～中学生）1198点となり、合計1385点。

出品者の年齢は5歳から98歳と幅広く、誰もが楽しく学べるのが書道であると実感できた。また、作品集として手元に残るのもよい記念になると好評であった。

主催

墨晨書道会
埼玉県 埼玉県教育委員会
埼玉県芸術文化祭実行委員会



中止となった事業

令和3年度は、開催を予定していた多くの事業が新型コロナウイルス感染症の影響により中止や延期を余儀なくされました。ここでは、中止となった地域文化事業について紹介します。

① 上里町

第54回上里町文化祭

主催団体である上里町文化協会は24団体で構成されています。毎年9月より展示部門（13団体）がスタートし、11月に芸能部門（11団体）が発表を行います。



② 川越市

川越市美術展覧会

県内市町村の中でも歴史ある美術公募展です。洋画・彫塑、工芸、日本画、書、写真の5部門を対象に展覧会を開催しています。学生奨励賞を設け、若い世代にも参加を促しています。



③ 鴻巣市

令和3年度市民文化祭

作品展や芸能発表会では練習の成果や作品が披露され、鴻響楽では吹奏楽団等の華麗な演奏を聴くことができます。



④ 坂戸市

第18回坂戸市芸術文化祭

個性豊かな作品展展示や唄と舞の舞台発表など、様々なジャンルの芸術文化をお楽しみいただけます。



⑤ ときがわ町

第29回ときがわもみじ太鼓まつり

日本の伝統芸能である和太鼓の演奏を間近で感じられる贅沢な空間で響きわたる鼓動を全身で感じてください。



⑥ 蓮田市

第32回人形げきと昔話のつどい

人形げきやおはなし会などの公演を通じて、子供たちの豊かな感性を育みます。各団体の特色ある公演をお楽しみいただけます。



⑦ 富士見市

第58回富士見市民文化祭

参加者と来場者が観て、聴いて、触れることで相互交流できるような文化祭を目指しています。



⑧ 美里町

美里町遺跡の森ピアノコンクール

スタインウェイ社製のグランドピアノを使用し、幼児から高校生まで（6部門）が出場するコンクールです。



⑨ 三芳町

第19回竹間沢車人形公演

幕末から町に伝わる竹間沢車人形は、ろくろ車という台車に腰掛けて大型の人形を一人で操る人形芝居です。現在は三芳町を含め三地域にしか現存しない、貴重な伝統芸能です。



⑩ 吉見町

フレサよしみミュージック&フラワーフェスタ

町内中学及び近隣の高校、社会人吹奏楽団体による演奏会のフレサよしみミュージックフェスタと小学生から地域住民による寄せ植えやハンギングコンテスト、生け花・絵画等の作品展などのフレサよしみフラワーフェスタを開催しています。



11 上尾市文化団体連合会

第37回上尾市文化芸術祭

加盟団体が各会場を一般市民に開放して、文化芸術に触れ合い、参加を呼びかけ仲間づくりをしています。



12 川越市三曲会

第38回邦楽（箏、三絃、尺八）のつどい

邦楽を身近に親しんでいただきたく活動しています。古典から現代曲まで、日本の音色をお楽しみください。



13 埼玉県かるた協会

第29回埼玉県百人一首大会

日本古来の小倉百人一首を使用した競技かるたの魅力を感じられる大会となっています。



14 埼玉県茶道協会

秋の茶会

伝統文化茶の湯を気楽に体験し、一碗のお茶を味わい席中の秋を感じつつ心静かに一期一会の時をご堪能できます。



15 埼玉県連句協会

第32回さきたま連句大会実作会

連句愛好家が日頃鍛錬した滑稽、幽玄、無常に対する思いを披露する会を開催しています。



16 詩吟・吟舞 泉心流

詩吟・吟舞 泉心流 温習会

詩吟・吟舞の発表と、日本楽器・琵琶・琴・洋楽器ピアノとのコラボレーション企画。大スクリーンを背景に、構成吟を企画しています。



17 秩父写友会

秩父写友会写真展

写友会は年2回写真展を開催しています。春季展は会員の自由作品を展示発表し、秋季展は決められたテーマについての展示発表を行っています。



18 津軽三味線貢治会

津軽三味線コンサートみんようまつり2021

おなじみの民謡と三味線合奏、飯能を元気に！と毎年開催している貢治会恒例、入場無料の津軽三味線コンサートです。



19 特定非営利活動法人 入間市文化創造ネットワーク

アミーゴ秋まつりvol.14 いるまクラフトフェア

クラフト作家の作品展示・販売、クラフト体験、野外ライブ、茶席などの文化芸術で地域コミュニティの場を創出しています。



20 武蔵野書人会

第40回武蔵野書展

流派を問わず、県内のみならず、東京、アメリカからも幅広く応募者のある書展です。



21 るーぽ

絵本deオペラ

0歳から大人まで、どなたでも楽しめる参加型オペラを開催しています。オペラ歌手やピアニストの演奏をとて近い距離でお楽しみいただけます。今年度はオンラインリトミック講座の開催や、YouTubeでの活動といたしました。

